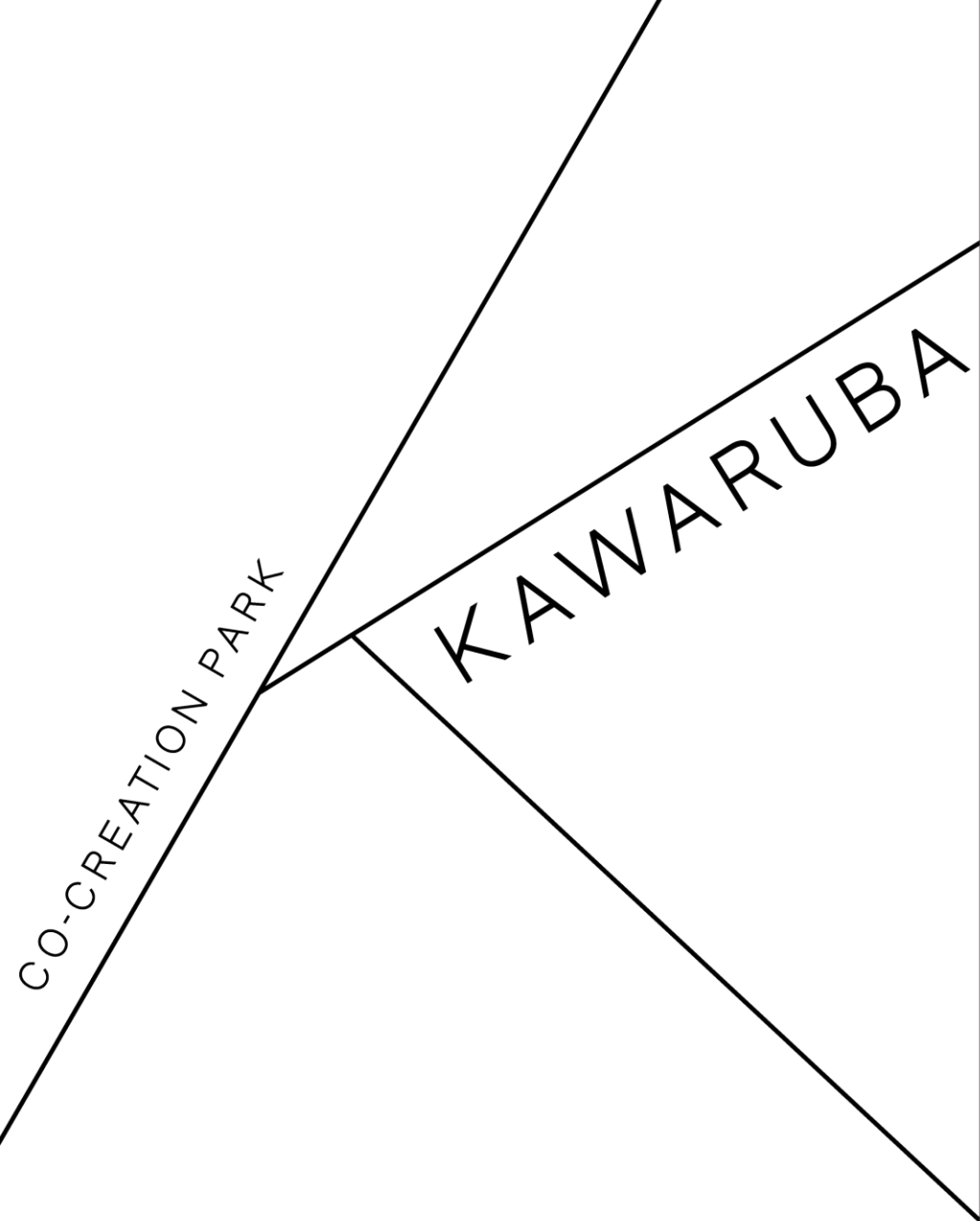




安全安心
リモート社会

近未来
モビリティ

エネルギー・環境
ソリューション

①

全社の重点投資方針

②

防衛事業

③

エネルギー事業

④

フィジカルAI

エネルギー事業をとりまく環境の変化

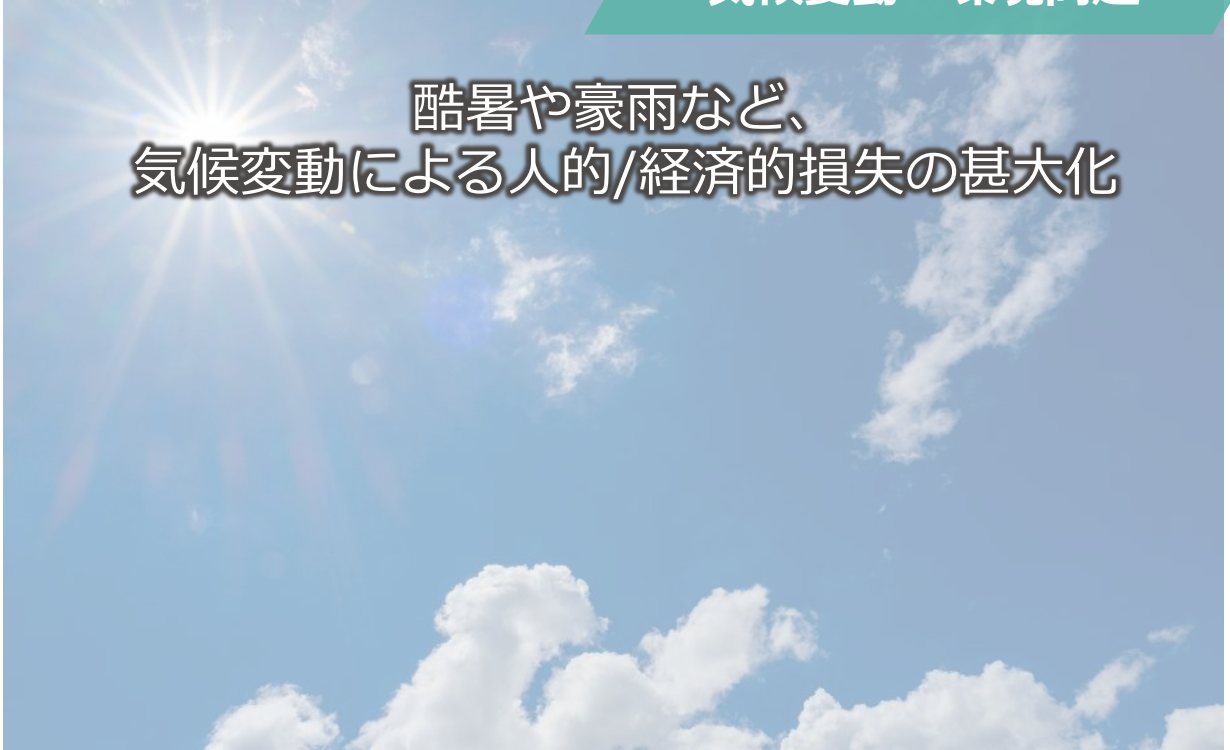
- 世界のエネルギーを取り巻く環境は、**AIの普及・高度化による電力需要増**、**地政学リスク等を背景としたエネルギー安定供給への課題**、**温暖化をうけた脱炭素化推進**と足元での**天然ガス回帰**など、ますます複雑化

電力需要増・安定供給



AIの普及・高度化に伴うデータセンター増、
経済発展等による電力需要増

気候変動・環境問題



酷暑や豪雨など、
気候変動による人的/経済的損失の甚大化

川崎重工のエネルギー・環境ソリューション

エネルギーに関連するさまざまな社会課題に対して、複合的なソリューションを提供

電力需要増・安定供給に貢献



ガスタービン



ガスエンジン



LNGタンク

エネルギー輸送に貢献

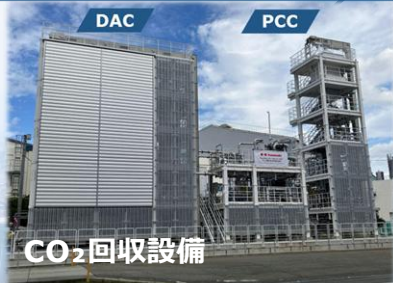


LPG/アンモニア船



液化水素運搬船

CO₂回収・利活用



CO₂回収設備

水素社会への移行をささえる



水素ガスタービン



水素ガスエンジン



舶用水素エンジン

水素エネルギーへの変革



水素受入基地

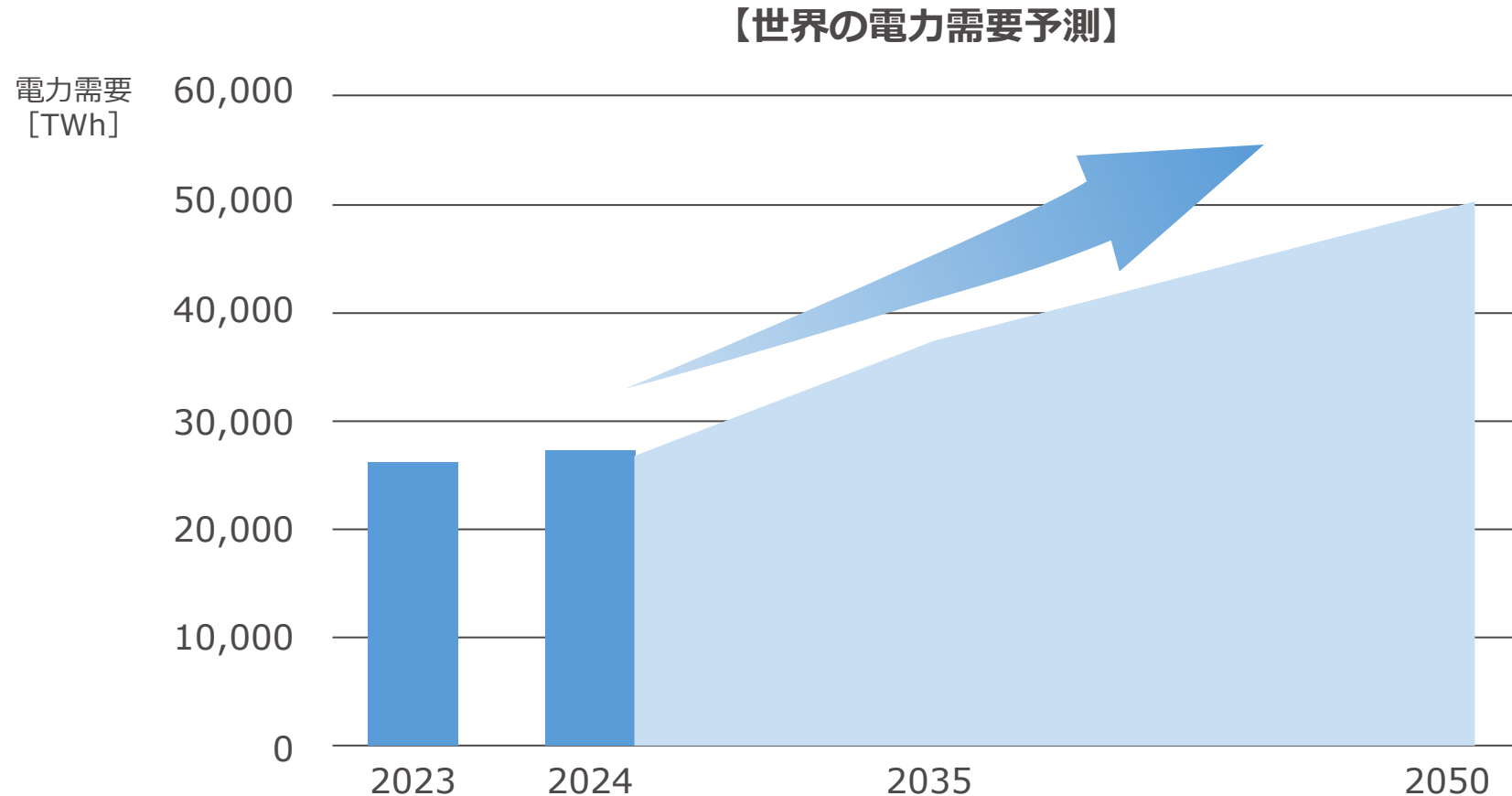


液化水素タンク

電力需要にこたえる

世界的に電力需要は増加傾向

- AI・データセンターの拡大や電化の進展、経済発展等により**世界的に電力需要が増加**
- **電力の安定供給が課題に**

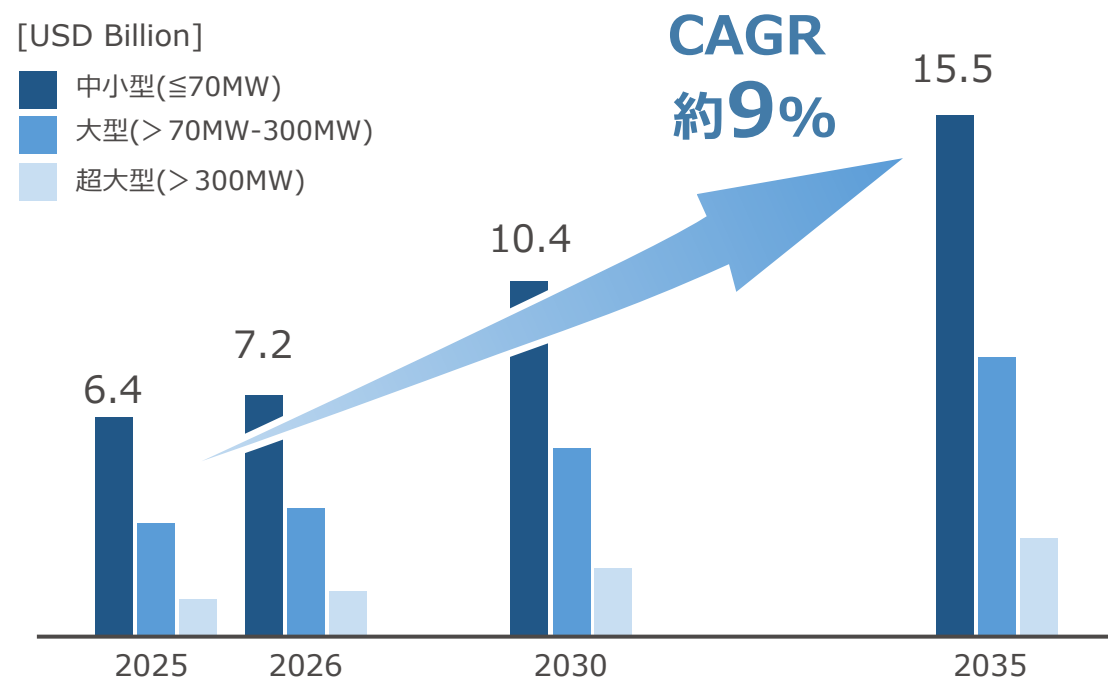


出典：International Energy Agency 『World Energy Outlook2025』

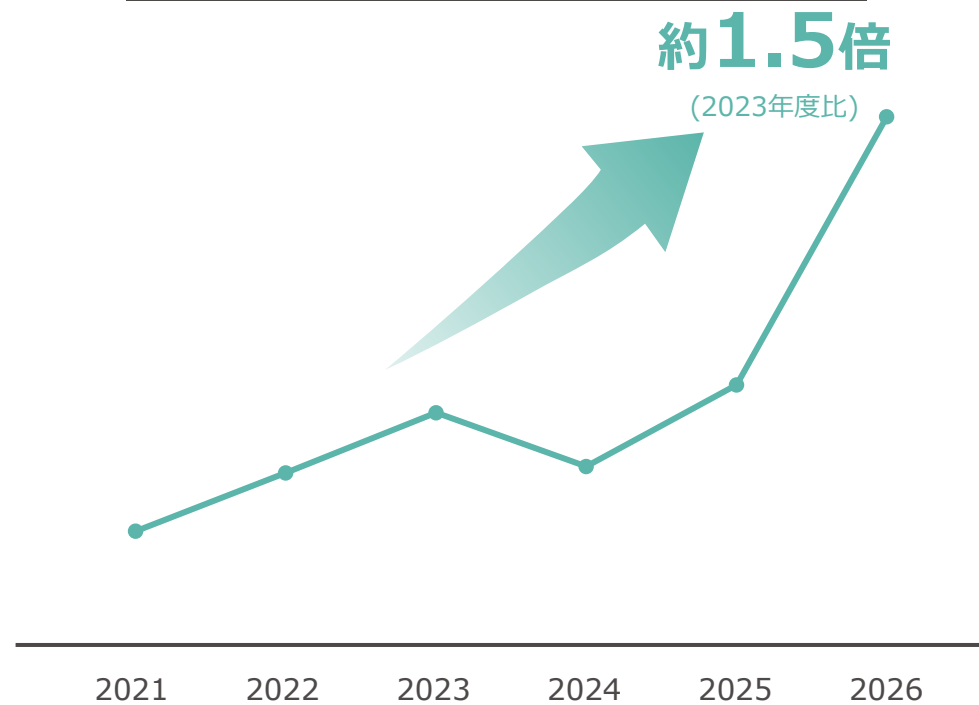
ガスタービンの需要増

- 電力需要の増加に伴い**ガスタービン需要も増加**
- 当社が得意としている**中小型ガスタービンのマーケットが大きく伸長**
(大型ガスタービンの製造キャパシティが逼迫し、中型ニーズが増加)

産業用ガスタービン市場予測



ガスタービン受注実績
(2026年度は見込み) *金額ベース



出典：産業用ガスタービン市場規模、シェアレポート 2026-2035

当社のターゲット市場

- 建物用非常用電源や分散型電源分野における当社中小型ガスタービンの優位性を活かし、
成長市場である世界のデータセンター向け市場に注力

これまでの主なターゲット市場

非常用発電

災害時等のバックアップ



ビル・病院
・工場等

分散型発電

工場等で熱電併給



今後特に注力する市場

データセンター

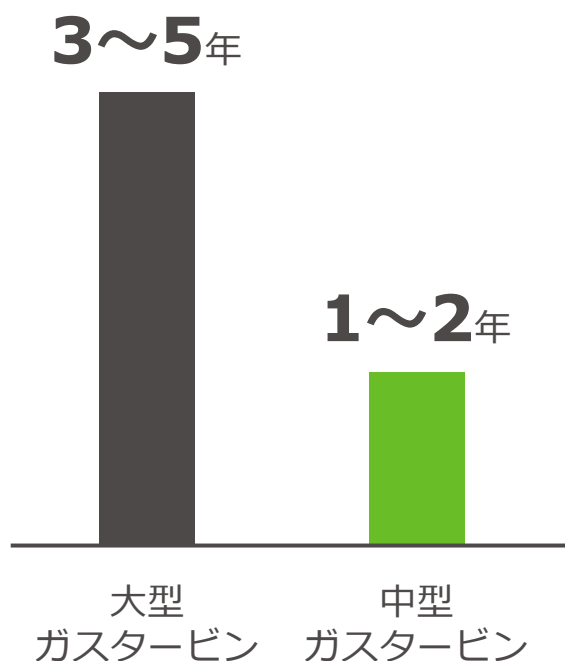


主に中型ガスタービン
(5 MW以上)



データセンター市場における中型ガスタービンの強み

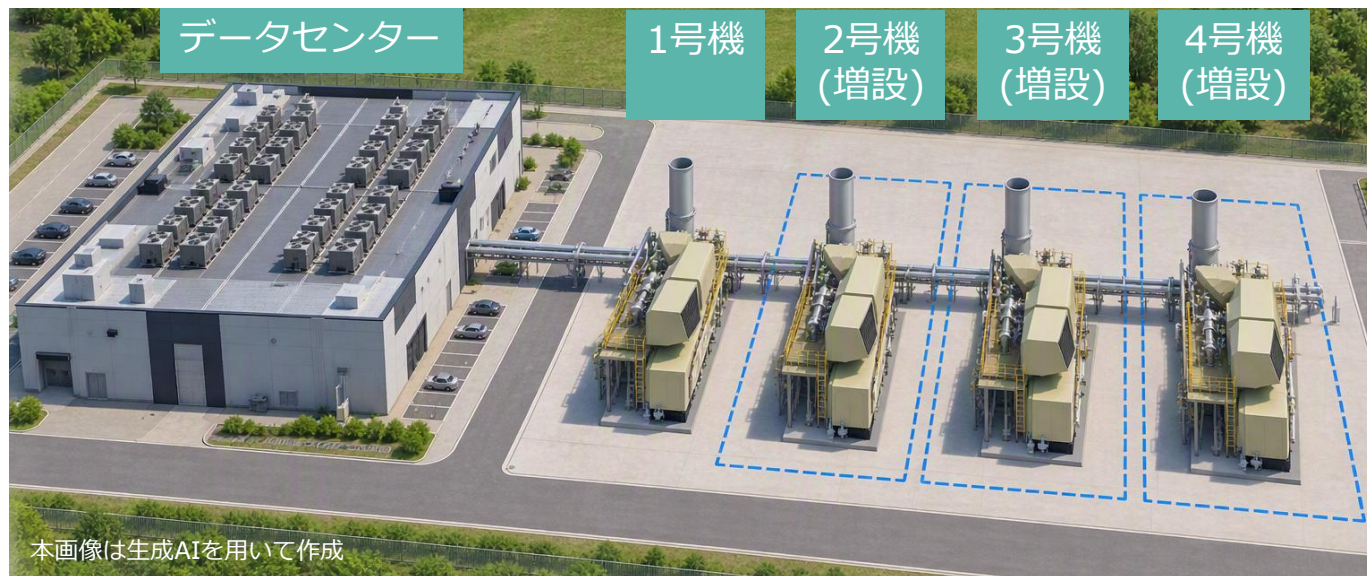
■ 運用開始までに要する期間



①運用開始までの期間が短く、急増する電力需要に対応可能

②データセンターは、クラウド需要の増加、GPU増設等の要因により電力の要求容量が変わることがある
中型ガスタービンは増設など柔軟に構成を変更可能

ガスタービン増設イメージ



本画像は生成AIを用いて作成

データセンター以外のターゲット市場

非常用(データセンター向け除く)

大規模再開発案件を含む
ビル・病院・公共施設向け

【現在の売上収益】

約 **200** 億円/年

※新規・アフター含む

安定

常用(分散型発電)

水素Ready※含むガス焚きコージェネ向け
(化学,食品,製紙工場等)

【現在の売上収益】

約 **300** 億円/年

※新規・アフター含む

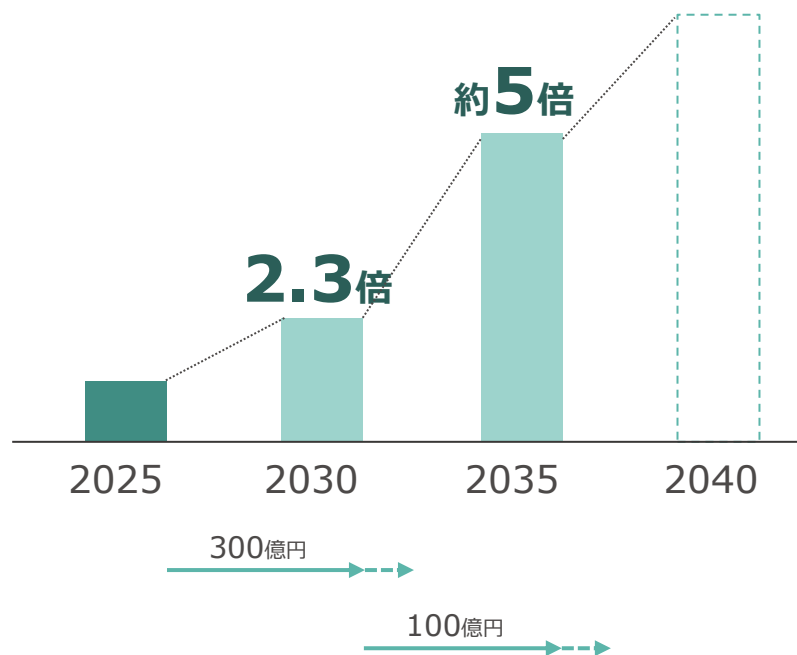
成長

※水素供給インフラが整備され次第、速やかに水素利用可能な状態

ガスタービンの生産能力増強

- 設備投資によりガスタービン生産能力を大幅に増強
- 2035年以降もマーケット状況により投資を判断

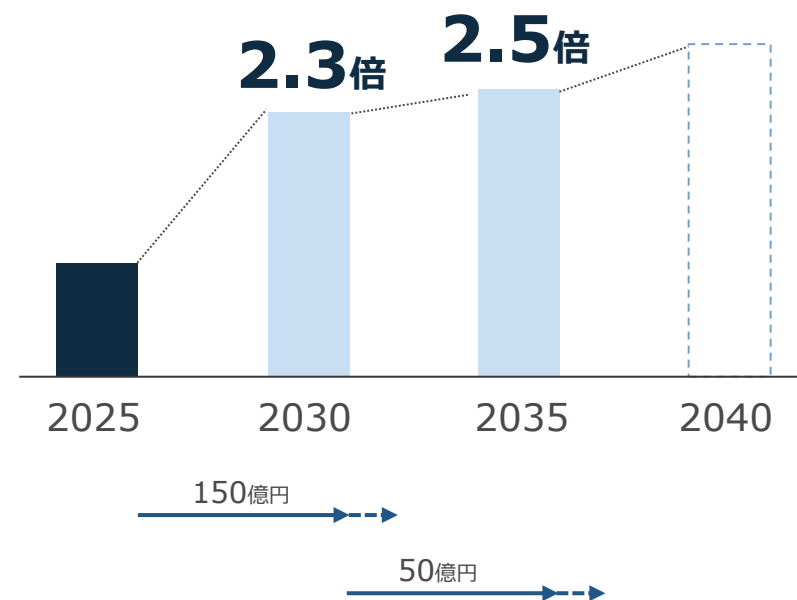
【中型ガスタービン(常用中心)の生産能力】



総投資額：約**400**億円

--- 継続投資効果

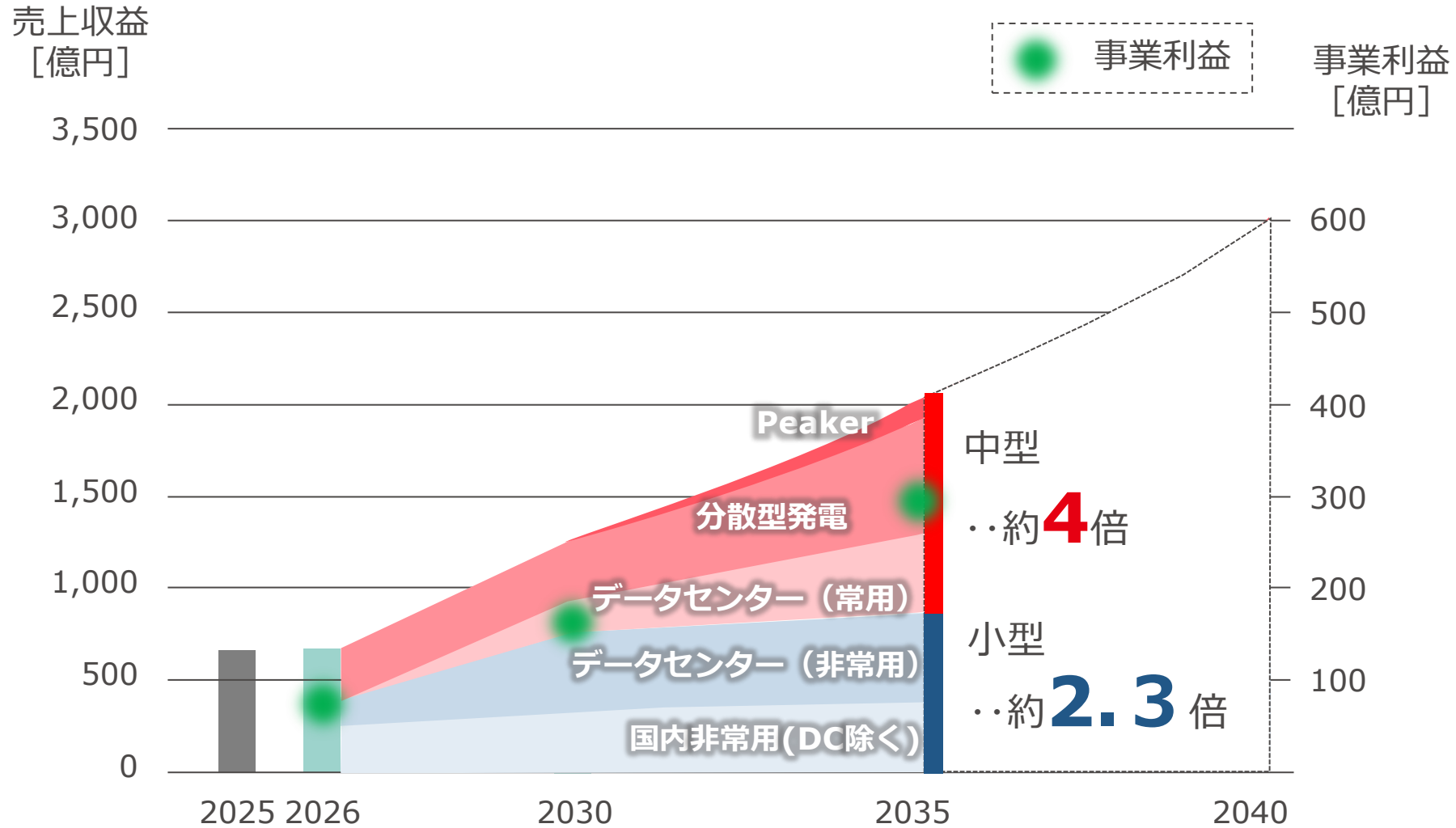
【小型ガスタービン(非常用中心)の生産能力】



総投資額：約**200**億円

--- 継続投資効果

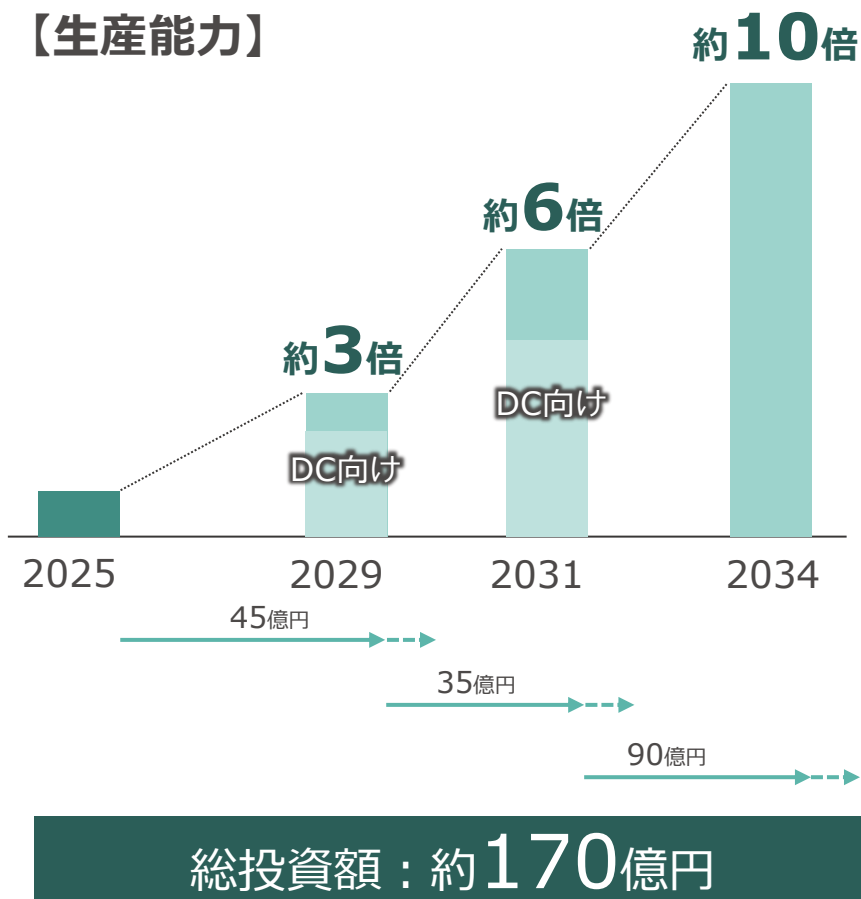
ガスタービン事業計画



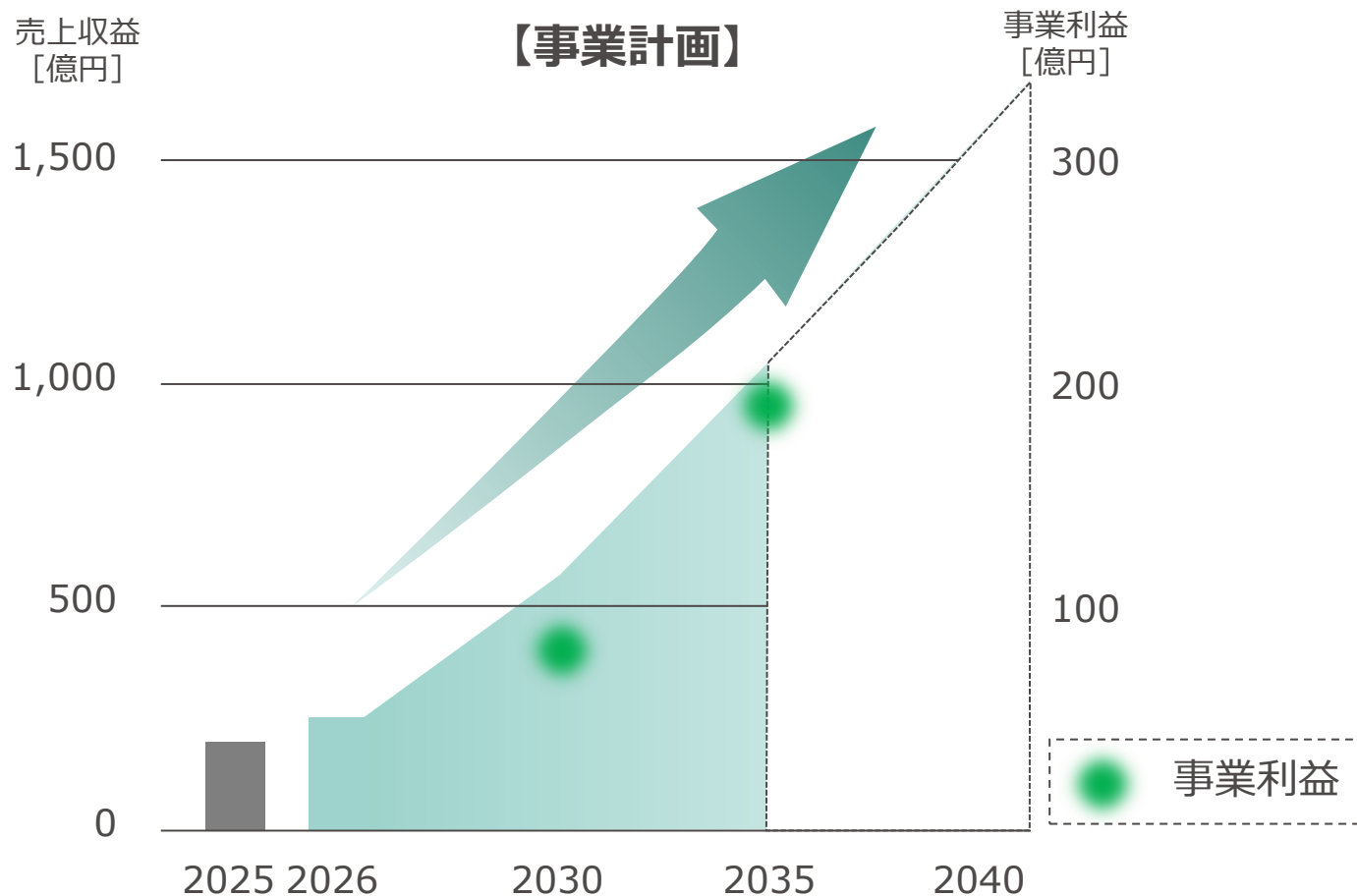
ガスエンジン

- データセンター向けでは**ガスエンジンの引合いも増加**
- 積極投資により**生産能力を約10倍**まで拡大、**海外データセンター案件に積極参入**

【生産能力】



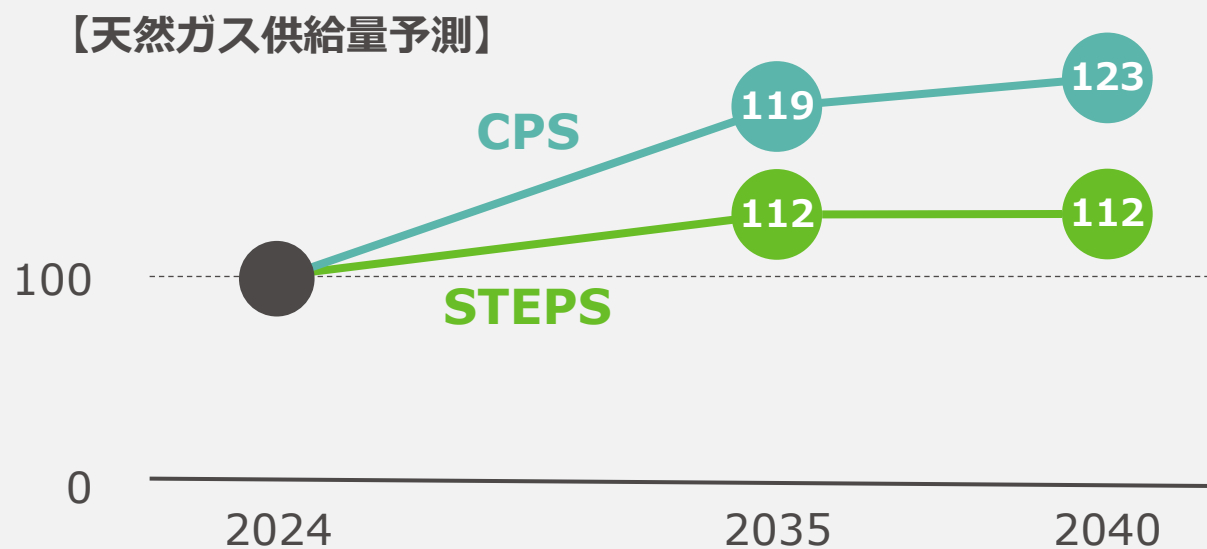
【事業計画】



カーボンニュートラルの 実現をささえる取組み

カーボンニュートラルまでのトランジション期間

■ 世界的な電力需要増と北米を中心とした天然ガスの生産・供給量の拡大



出典：International Energy Agency
『World Energy Outlook2025』2024年の供給量を100として作成

CPS 現在実施中の政策のみ 考慮したシナリオ	天然ガス供給量は順次増大
STEPS 現在実施中の政策に加え、 正式に表明された政策を 考慮したシナリオ	天然ガス供給量は横ばい

カーボンニュートラルへ向かうまでのトランジション期間が長期化

エネルギー・環境ソリューションとして最適解を提供

現在（LNG）



ガスタービン



ガスエンジン



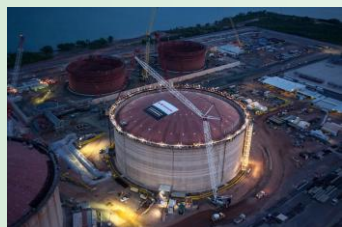
水素ガスタービン



舶用水素エンジン



液化水素タンク



LNGタンク



LPG/アンモニア運搬船



水素ガスエンジン



CO₂回収



液化水素運搬船

トランジション期

LNG製品、水素Ready製品、水素製品
全ラインナップを揃え、どの局面にも対応

液化水素運搬船を含む様々な液化ガス運搬船

LNG運搬船

国内建造再開に向けた
協議への参画
(国内造船各社との協業)



LPG/アンモニア運搬船

連続建造中
生産性向上策推進中



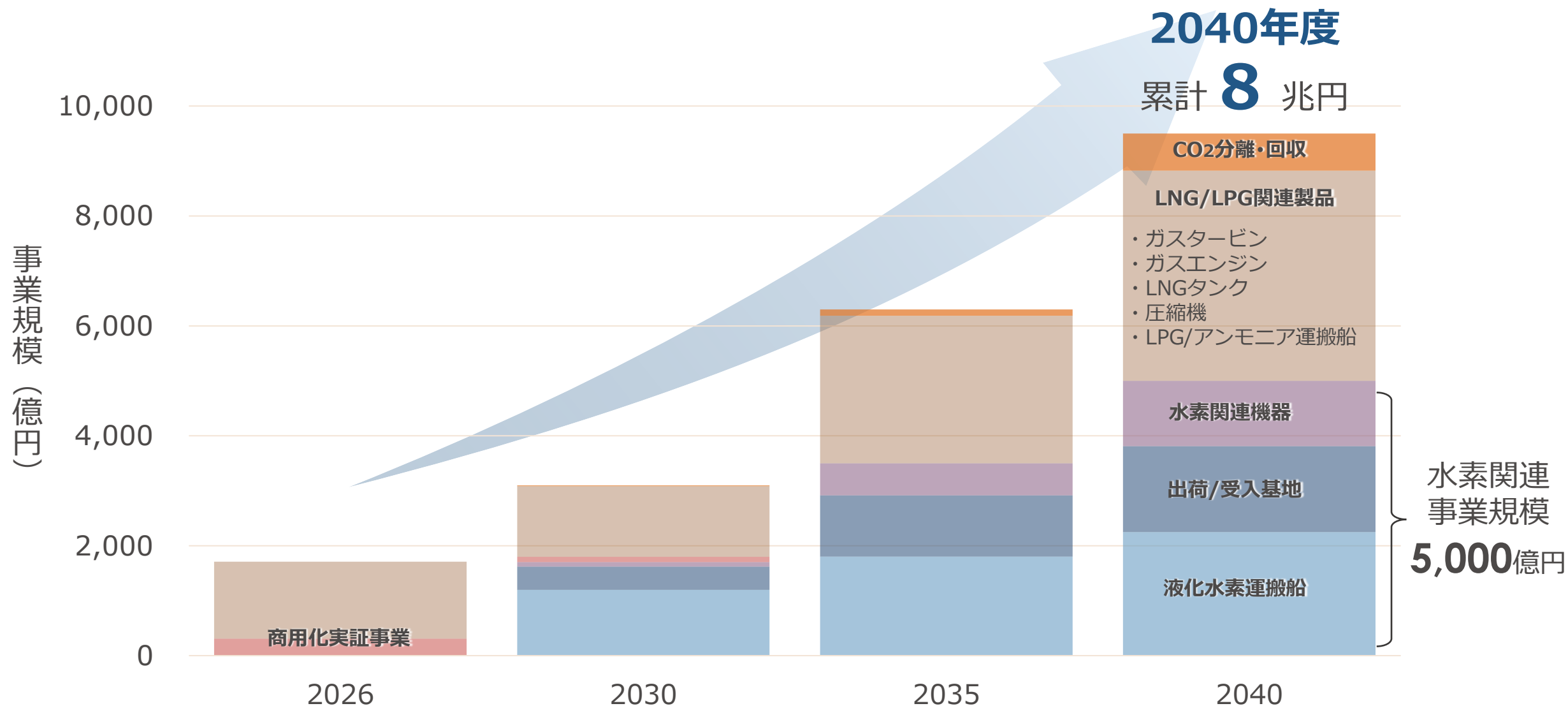
液化水素運搬船

商用化実証投入による
大量輸送技術立証
商用向け商談中



カーボンニュートラルや各種エネルギー需要等の**社会ニーズ**に応える**製品・サービス**を提供し、
エネルギー輸送に貢献

エネルギー・環境ソリューションの事業規模見通し



国内における水素の社会実装は着実に進展

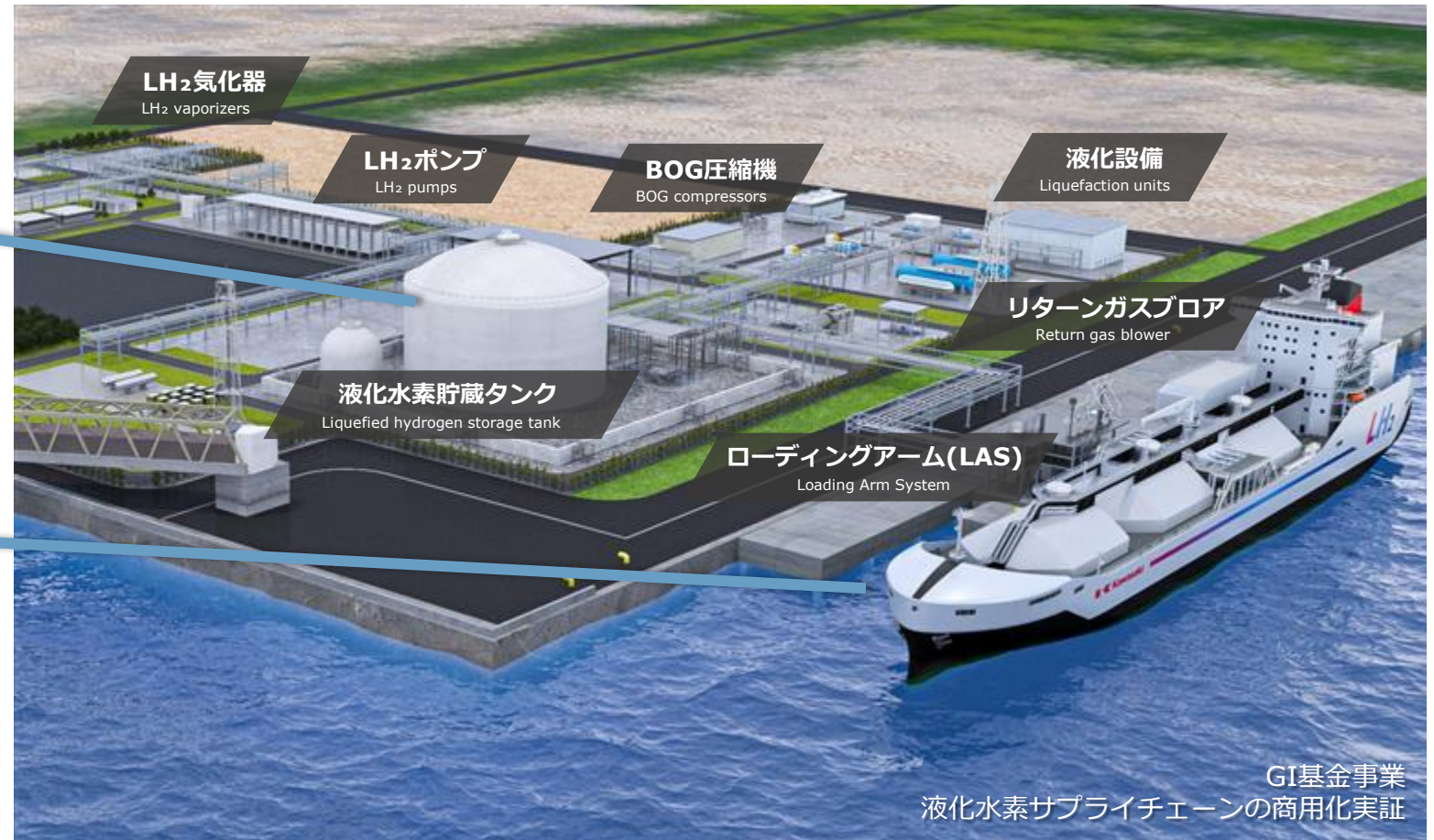
商用化実証の進捗

- 川崎市・扇島での商用化実証設備、液化水素運搬船を現在建造中

50,000m³液化水素貯蔵タンク



40,000m³液化水素運搬船



官民連携による水素の社会実装を後押し

水素大動脈構想

- 「川崎LH₂ターミナル」を起点に水素大動脈の実現を目指す



水素大動脈に寄与する当社製品

内航船輸送



すいそ
ふろんていあ

陸路輸送



液化水素コンテナ

鉄道輸送



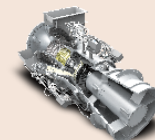
鉄道用水素コンテナ

水素ステーション利用



油圧ブースタ式
水素圧縮機

発電利用



水素混焼／専焼
ガスタービン



水素混焼／専焼
ガスエンジン

鉄道利用



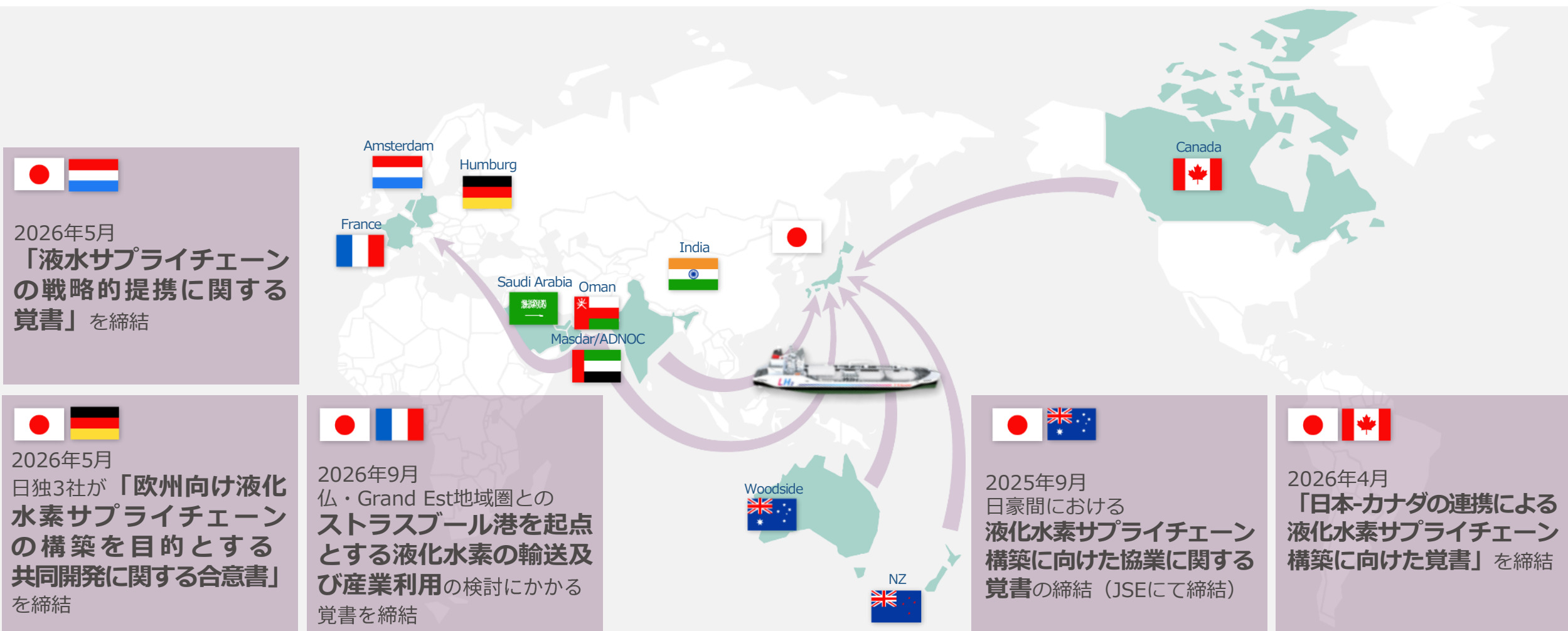
電気式気動車
「GreenDEC」

パイプライン輸送



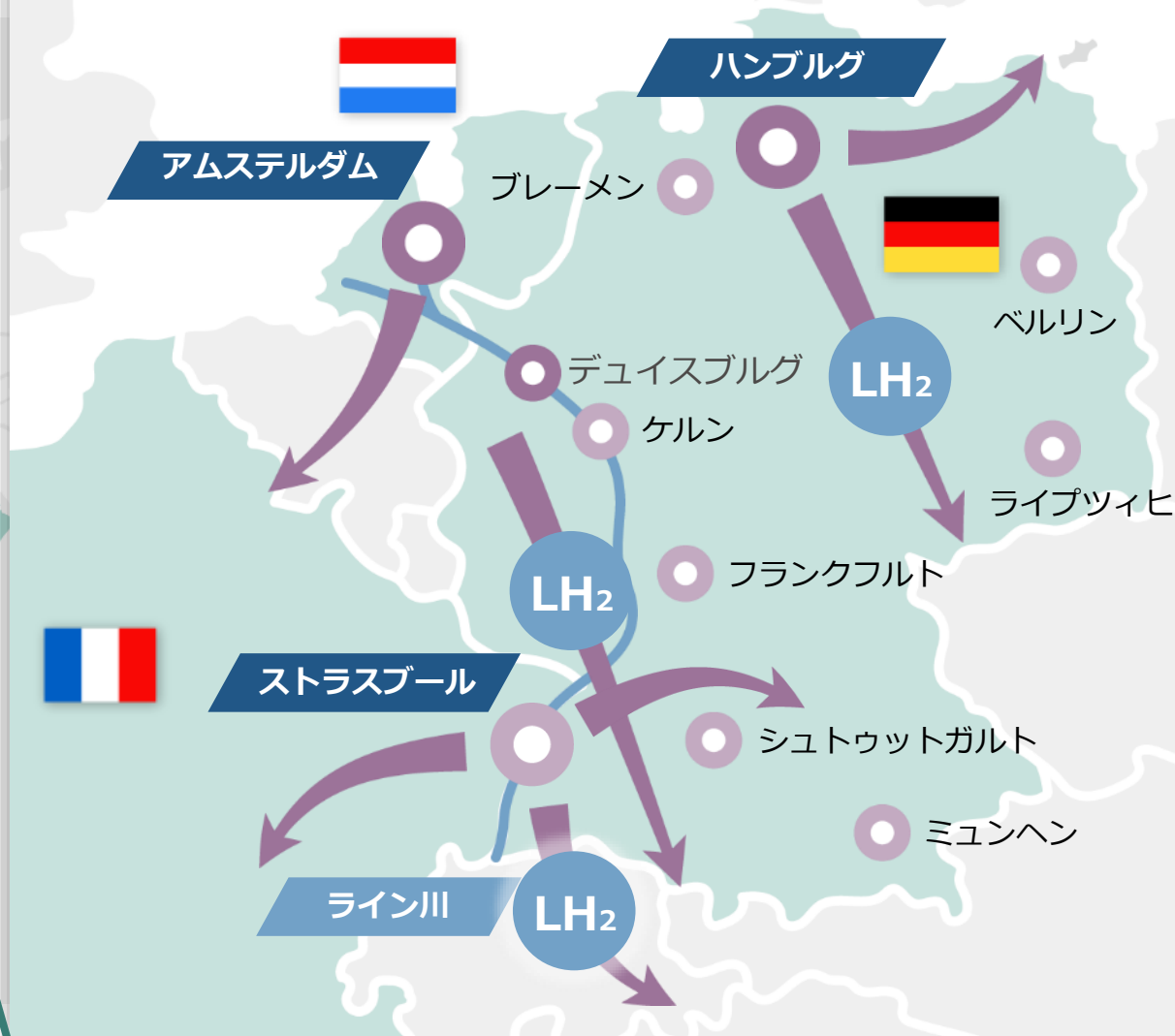
遠心式水素圧縮機
「KM-Comp」

国際水素サプライチェーン構築に向けた各国との動き



国際水素サ

- LH₂受け入れ基地
- LH₂充填拠点



ドイツ・ハンブルグ港、
オランダ・アムステルダム港を
起点に欧州水素回廊を構築

さらに

フランス・ストラスブール港を
経由し欧州内陸部への供給網の
展開を目指す

「つくる・はこぶ・ためる・つかう」で見る海外との連携

つくる



加・Alberta州 Edmonton地域との 連携



日-カナダ間における水素製造・輸出に
関する可能性検討



豪・Woodside Energy社 との連携

日豪間液化水素サプライチェーン構
築に向けた協業（JSEにて締結）



はこぶ



仏・Grand Est地域圏 との連携



ストラズブール港を起点とする液
化水素の輸送及び産業利用の検討



蘭・EcoLog社との 連携



アムステルダム港で開発を進める液
化水素回廊の中流領域における連携



独・DaimlerTruck社・ MBEnergy社との連携

ハンブルグ港を経由した欧州向け
液化水素サプライチェーン構築



ためる

つかう



独・RWE社における 水素ガスタービン導入



NEWS 2026年9月22日 Bosch Rexroth との協業

Bosch Rexroth社と油圧機器、水素ソリューションに関する契約を締結

ボッシュ・レックスロスと建設機械分野での
技術協業に関する基本合意を締結

～将来の建設現場に向けた革新的な技術ポートフォリオ
の拡充、水素社会の実現に向けた取り組みを加速～

2026年09月24日



*Bosch Rexroth
あらゆる規模の機械やシステムの効率性、
動力性能、安全性を担保し、
油圧システムや電気駆動技術などを有する駆動
及び制御技術のリーディングサプライヤー
[Bosch Rexroth. WE MOVE. YOU WIN.](#)

カーボンニュートラル社会実現に向け 重要となるCO₂回収・利活用

DAC

大気からCO₂を回収

PCC

工場内ガスエンジンの
排ガスからCO₂を回収



カーボンニュートラル社会実現に向け 重要となるCO₂回収・利活用



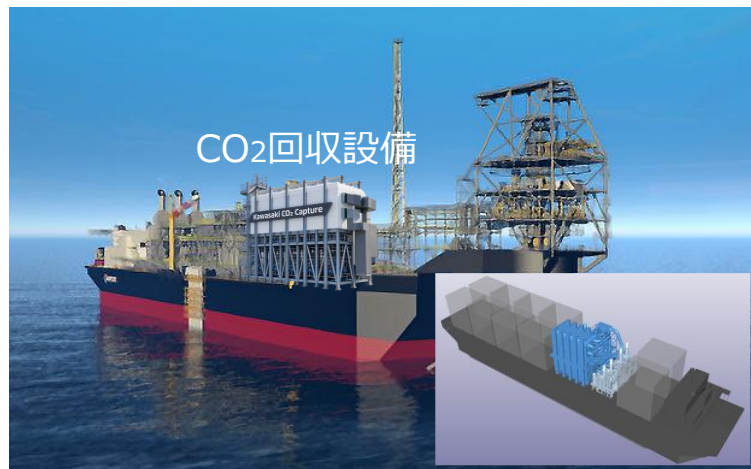
CO₂回収事業化に向けた進展

CO₂回収の社会実装に不可欠な、回収・貯留パートナーとの連携を着実に推進

回収
貯留

三井海洋開発(MODEC)

FPSO*設備でのCO₂回収設備の共同開発



FPSOにCO₂回収設備を搭載したイメージ

FS

大規模CO₂回収のFS実施済

FEED・EPC

FEED/EPCについて今後協議

回収

JERA

横須賀火力発電所でのCO₂回収実証



FS

CO₂回収適用に向けた実証機のFSを実施中。
2030年度までに実証機設置予定。

貯留

PETRONAS

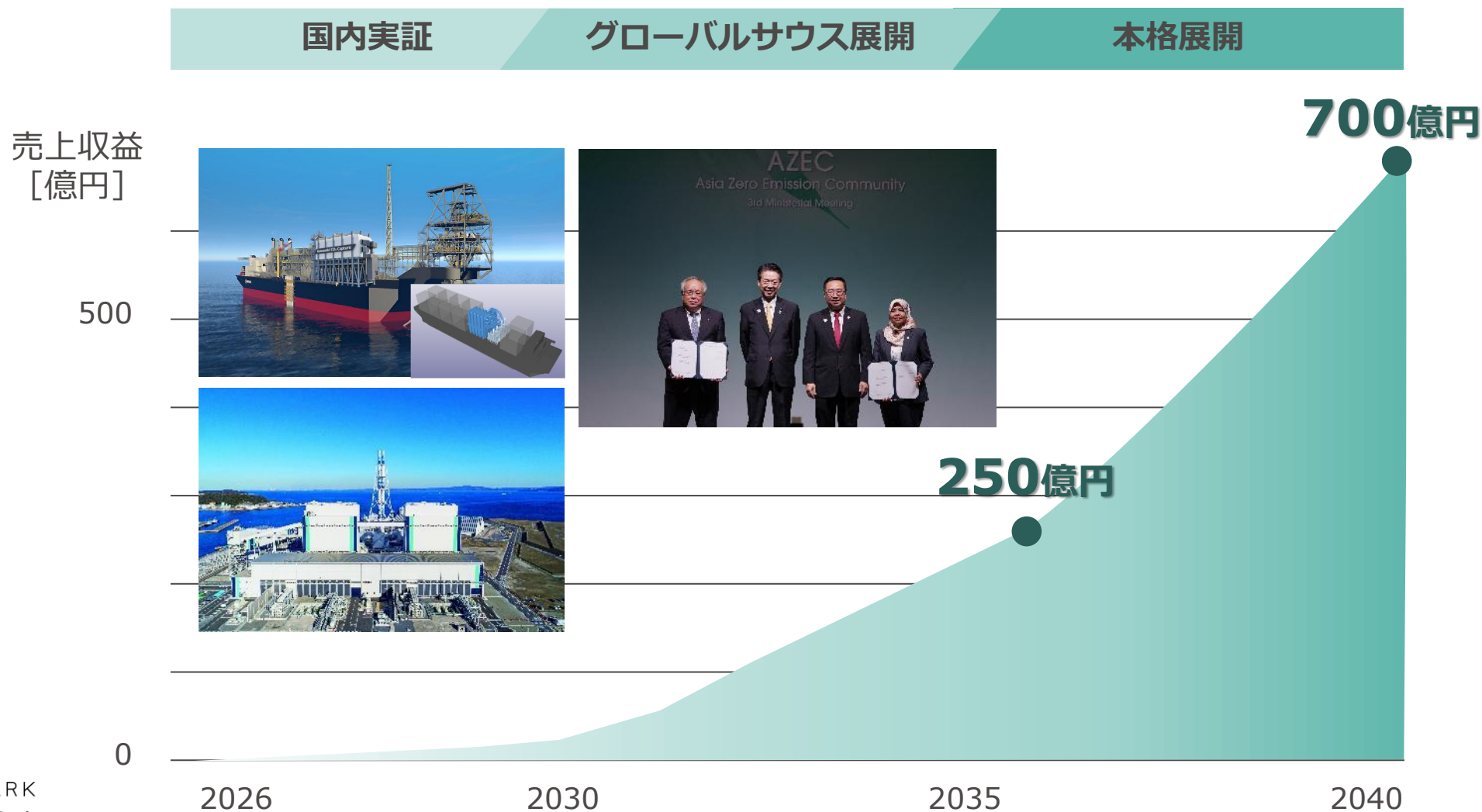


*2025年10月AZEC閣僚会合(@クアラルンプール)でのMOUセレモニー

経済産業省グローバルサウス事業/マレーシア
における産業排出源へのCO₂回収設備適用について
FS実施に関するMOUを2025年10月に締結
事業性調査（グローバルサウスFS）を推進

CO₂回収の事業計画

■ 国内実証から、貯留可能な地域における展開を進め、2035年以降本格展開を見込む



S + 3Eとしての水素・CO₂の重要性

Safety

+

Energy security · Economic efficiency · Environment

世界中のあらゆる場所から調達

燃料利用・製品原料への転換



再生可能エネルギー



天然ガス



水力・原子力

国内のエネルギー源から製造でき、
燃料や石油関連製品へ転換できる

H₂



利用

H₂

CO₂

合成



変換

発電燃料



発電用 水素ガスタービン/ガスエンジン

ガソリン



当社がトルクメニスタンで建設した
Gas to Gasolineプラント 生産量：60万ton/年

ナフサ/ジェット燃料 他 (e-fuel、SAF含む)